

インターネットに関する調査データ

○平成14年通信利用動向調査報告書 世帯編 ～ 抜粋 ～ …… P1

○医療・保健分野におけるインターネット利用の信頼性確保に
関する調査研究 ～ 抜粋 ～ …… P4

○インターネット上の医療情報の提供と利用の実態に関する
調査研究 ～ 抜粋 ～ …… P21

平成 14 年

通信利用動向調査報告書
世帯編

平成 15 年 3 月

総務省 情報通信政策局

～ 抜 粋 ～

第4章 個人のインターネット利用状況

年齢6歳以上の家族全員について、それぞれの過去1年間におけるインターネットの利用状況を尋ねた。

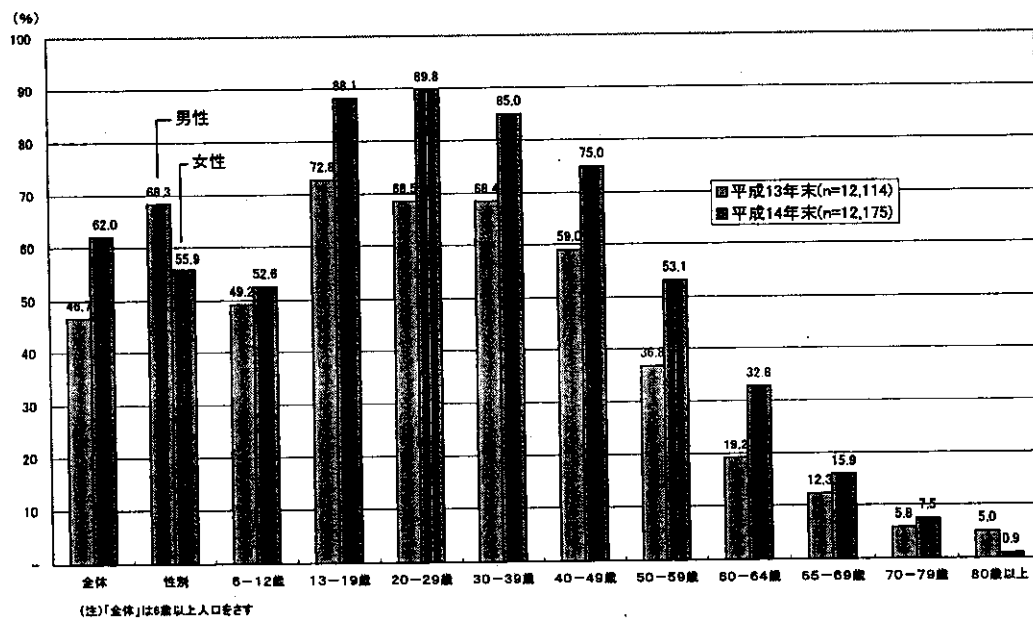
1 インターネット利用率²

(1) 利用率の動向

平成14年12月時点でインターネットを利用する人の割合は、我が国6歳以上人口の62.0%をしめ、昨年と比べると11.1ポイントの上昇となった。これを男女別にみると、男性が53.0%から68.3%に、女性が40.6%から55.9%となり、また年齢階層別にみると80歳以上を除く全ての階層で上昇し、特に20歳代では20ポイント以上の大幅な伸びを記録した。

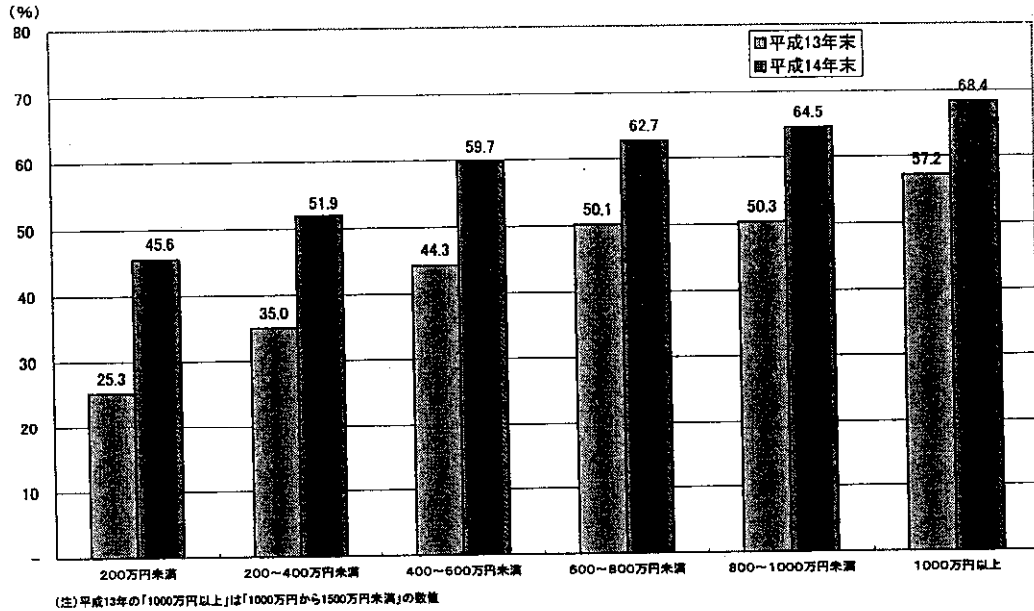
この結果、わが国のインターネット利用者は前年の5,593万人から1,348万人増加して6,945万人となり、二人に一人がインターネットを利用する時代となった。人口に対する普及率（人口普及率）は初めて50%を突破して54.5%に達した。

図表4-1 平成13年から平成14年のインターネット利用率の変化

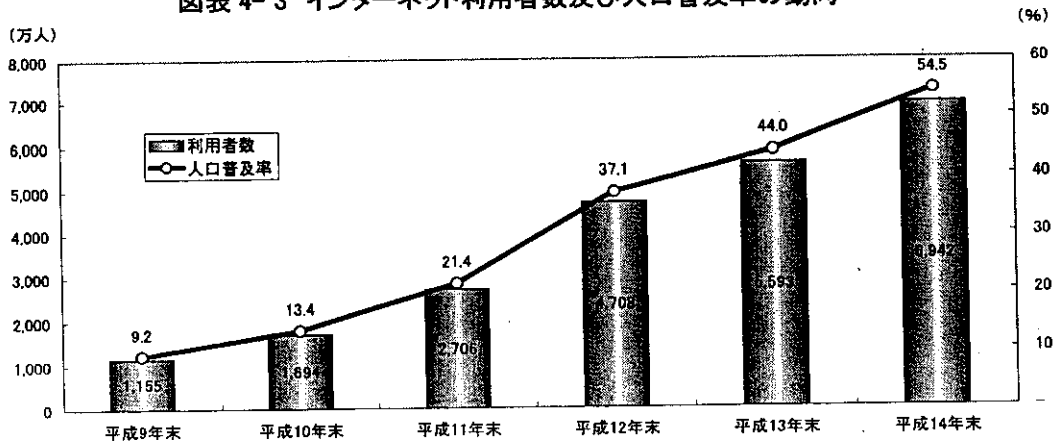


² 平成12年国勢調査（総務省）の第3表の男女別年齢別人口と平成13年簡易生命表（厚生労働省）の死亡率から平成14年のわが国人口の男女別年齢別人口を推計し、これをウェイトとして、各階層のインターネット利用率を荷重平均して、対象全体あるいは男女合計を計算。なお、この14年人口推計値は平成12年国勢調査結果に年齢不詳が22.9万人含まれ、本計算では年齢不詳を除いているため、厚生労働省の中間推計値（10,925万人）よりもその分だけ小さいが、全体の計算には不都合が生じないものと判断。

図表 4-2 世帯主年収別インターネット利用率の変化



図表 4-3 インターネット利用者数及び人口普及率の動向



(平成14年度厚生労働科学研究費補助金)

医療技術評価総合研究事業 報告書

医療・保健分野における インターネット利用の 信頼性確保に関する調査研究

(H14-医療-005)

平成15年3月

主任研究者
札幌医科大学医学部教授 辰巳治之

～ 抜 粹 ～

資料1

自治体等公的機関の提供する 医療情報について (患者・家族対象)

- 資料1-1 アンケート内容と単純集計結果
- 資料1-2 自由コメント
- 資料1-3 年代別によるクロス集計結果
- 資料1-4 性別によるクロス集計結果
- 資料1-5 疾患別によるクロス集計結果
- 資料1-6 居住都道府県別によるクロス集計結果

～ 抜 粋 ～

資料1-1 アンケート内容と単純集計結果

回答者人数 1,019名

《回答者のプロフィール》

●回答者の平均年齢 37.9歳

1 男性の平均年齢	43.4歳	6 糖尿病の平均年齢	40.9歳
2 女性の平均年齢	35.1歳	7 アトピー性皮膚炎の平均年齢	33.9歳
3 患者の平均年齢	39.1歳	8 喘息の平均年齢	35.9歳
4 家族の平均年齢	36.9歳	9 胃がん・乳がん・大腸がんの平均年齢	40.9歳
5 高血圧の平均年齢	41.3歳		

●回答者の年代別構成

・19才以下	19名 1.9%	・50代	96名 9.4%
・20代	185名 18.2%	・60代	39名 3.8%
・30代	428名 42.0%	・70才以上	6名 0.6%
・40代	246名 24.1%		

●回答者の性別

1 男	340名 33.4%	2 女	679名 66.6%
-----	------------	-----	------------

●患者本人・家族の区別

1 患者本人	462名 45.3%	2 患者の家族	557名 54.7%
--------	------------	---------	------------

●疾患の種類

1 高血圧	201名 19.7%	4 喘息	196名 19.2%
2 糖尿病	150名 14.7%	5 胃がん、乳がん、大腸がん	106名 10.4%
3 アトピー性皮膚炎	321名 31.5%	6 その他	45名 4.4%

●受診経験の有無

1 現在の病気で医療機関を受診したことがある	956名 93.8%
2 現在の病気で医療機関を受診したことはない	61名 6.0%
3 不明	2名 0.2%

●治療の有無

1 現在、通院または入院治療を受けている	616名 60.5%
2 現在、通院または入院治療を受けていない	395名 38.8%
3 不明	8名 0.8%

●居住している都道府県名

1 北海道	95名 9.3%	9 新潟	25名 2.5%
2 岩手	24名 2.4%	10 福井	9名 0.9%
3 千葉	62名 6.1%	11 京都	47名 4.6%
4 東京	158名 15.5%	12 大阪	132名 13.0%
5 神奈川	112名 11.0%	13 兵庫	60名 5.9%
6 静岡	38名 3.7%	14 岡山	47名 4.6%
7 愛知	88名 8.6%	15 愛媛	26名 2.6%
8 長野	34名 3.3%	16 福岡	62名 6.1%

●質問と回答

問1 インターネットを利用して医療情報(病気や医療機関に関するさまざまな情報)をどのくらいの頻度で利用されていますか？

・ほとんど毎日	2.6%	・1年に1~数回	39.0%
・1週間に1度以上	18.8%	・利用していない	0.0%
・1カ月に1~3回	39.6%		

問2 利用されている情報はどのようなものですか？(いくつでも選んでください)

・医療機関に関する情報(住所、診療科目、提供されるサービス、業務内容等の、外からの確認が容易な情報)	41.2%	・一般の病気に関する情報	57.1%
・医療機関に関する情報(得意にしている疾患、整備している医療機器等の、専門性に係る情報)	22.3%	・感染症、難病等に関する情報	12.7%
・医療機関に関する情報(提供される医療や病院の機能に関する第三者の評価情報)	15.7%	・病気の治療法に関する情報	58.0%
・医師に関する情報	8.3%	・薬に関する情報	50.4%
		・病気予防、健康管理に関する情報	36.1%
		・QOL(生活の質)に関する情報	4.4%
		・同じ患者の体験情報	21.6%
		・不明	0.3%

・その他(1.8%)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> かかりつけ医院のホームページ | <input type="checkbox"/> 健康チェック |
| <input type="checkbox"/> 医師の掲示板 | <input type="checkbox"/> 健康食品などについて |
| <input type="checkbox"/> 医者住所や電話番号を調べる | <input type="checkbox"/> 公的サービス |
| <input type="checkbox"/> 医療関係者が発行しているメルマガ | <input type="checkbox"/> 最近は婦人科系の情報を利用するようになりました |
| <input type="checkbox"/> 医療費について | <input type="checkbox"/> 最新の医学情報 |
| <input type="checkbox"/> 医療費補助制度 | <input type="checkbox"/> 食事療法について(治療用食品購入も含む) |
| <input type="checkbox"/> 看護に関する情報、医療事故など | <input type="checkbox"/> 代替療法について |
| <input type="checkbox"/> 看護婦の仕事内容 | <input type="checkbox"/> 病気にいい食べ物 |
| <input type="checkbox"/> 緩和ケア病棟を持つ病院及び在宅ケアで受けられるサービス往診可の医院の情報等 | <input type="checkbox"/> 病気の治療の助けになる食品の情報 |

問3 医療情報のうち、医療機関に関する情報を探す場合、どの方法を一番に選ばれますか？(一つだけ選んでください)

・Yahoo!などの検索エンジンやディレクトリー検索を利用する	83.5%	・地域の保健所のサイトを利用する	0.7%
・国または国に準ずる機関のサイトを利用する	1.0%	・医師会のサイトを利用する	3.2%
・都道府県のサイトを利用する	2.2%	・地域で医療機関連携をはかっている病院のサイトを利用する	1.9%
・市町村のサイトを利用する	3.4%	・民間の医療機関案内サイトを利用する	0.2%
		・不明	0.5%

・その他

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> インターネットタウンページ | <input type="checkbox"/> 病名などから検索し、複数のサイトを見る |
| <input type="checkbox"/> メーリングリスト | <input type="checkbox"/> 病名を入れる |
| <input type="checkbox"/> 製薬会社からのメール | |

問4 普段、最もよく利用する検索エンジンをあげてください。(一つだけ選んでください)

・Yahoo!	57.9%	・Infoseek	4.5%
・Goo	4.6%	・MSN	10.1%
・LYCOS	0.9%	・Netscape	0.3%
・Google	19.6%	・不明	0.5%

・その他(1.6%)

○AOL
○Biglobe
○Excite
○metcha search

○Nifty
○Q4_free
○Nifty

問5 都道府県または市町村の自治体のサイトへアクセスする(URLを探す)方法はご存知ですか?

・知っている	32.3%	・どのようにして探せば	6.9%
・(検索などで)探せばわかると思う	60.8%	・いいかわからない	

問6 都道府県または市町村の自治体のサイトにアクセスしたことがありますか?

・アクセスしたことがある	69.4%	・アクセスしたことがない	30.6%
--------------	-------	--------------	-------

※上記で、「アクセスしたことがない」とされた方は、問8へ移ってください。

※上記で、「アクセスしたことがある」とされた方へ

問7 その時、医療機関に関する情報が案内されていたかどうか覚えていますか?

「アクセスしたことがある」と回答した707名中、

・案内されていたと思う	40.3%	・どちらか覚えていない	44.1%
・案内されていなかったと思う	15.1%	・不明	0.4%

以下の質問では、仮に自分自身または家族が病気になった時に、インターネットで近くの医療機関を探したい...という状況を想定してください。この想定で、あなたが居住される都道府県または市町村の自治体のサイトを探してください。アクセスができれば、利用することのできる情報をいろいろ閲覧してください。(情報の量によりますので、閲覧する時間は指定しません)

その後から、以下の質問にお答えください。

問8 あなたが居住する都道府県または市町村の自治体のサイトにアクセスできましたか?

(上の説明を必ずお読みください)

・すぐに(3分以内)アクセスできた	66.3%	・できなかった	23.1%
・3分以上かかったがアクセスできた	10.6%		

※上記で、「できなかった」とされた方は、問17へ移ってください。

※上記で、「アクセスできた」とされた方へ

問9 アクセスされた自治体のサイトの名前とURLを記載してください。

例:青森県ホームページ <http://www.pref.aomori.jp/>

・サイト名
・URL <http://>

問10 上記のサイトにアクセスして、医療機関に関する情報を何か確認できましたか?

「アクセスできた」と回答した784名中、

・確認できた	89.5%	・確認できなかった	10.5%
--------	-------	-----------	-------

※上記で、「確認できなかった」とされた方は、問17へ移ってください。

※上記で、「確認できた」とされた方へ

問11 どのような情報が確認できましたか？(いくつでも選んでください)

「確認できた」と回答した702名中、

・病院に関する情報	70.9%	・医師に関する情報	9.0%
・一般診療所に関する情報	42.0%	・感染症、難病等に関する情報	16.1%
・歯科診療所に関する情報	25.5%	・緊急性の病気(O-157等)に関する情報	8.7%
・救命・救急に関する情報	47.2%	・病気予防、健康管理等保健に関する情報	30.3%
・休日・夜間診療に関する情報	66.7%	・不明	3.1%

・その他(5.1%)

- | | |
|---|----------------------------------|
| ○インフルエンザの予防、こじらせる前に..など | ○市内の医療機関検索へのリンクがあった |
| ○テレホンサービス、 | ○市立病院と助成 |
| ○なやみ相談 | ○社団法人明石市医師会に関する情報 |
| ○バイオテロ | ○心の健康(電話や面接相談)、市内で発生した食
中毒の速報 |
| ○医師会 | ○全国の病院が検索できるリンクつき |
| ○応急処置の仕方。災害時の対応。公害健康被害
補償について。健康診断、生活衛生について。 | ○乳児医療手続きのあらまし |
| ○介護保険 | ○武蔵野市医師会ホームページ |
| ○外国語対応医療機関 | ○保険福祉などの、在宅・施設サービス |
| ○健康診査、献血 | ○業についての情報 |
| ○健康診査・健康相談などの日程情報 | ○薬局・薬店 |
| ○献血・ドナー登録 | ○予防接種の取扱医療機関の一覧 |
| ○災害時の医療体制 | |

問12 全体的に情報へのアクセスは容易でしたか？

・かなり容易であった	48.9%	・まったく容易でなかった	1.3%
・やや容易であった	39.7%	・どちらとも言えない	2.1%
・あまり容易でなかった	7.8%	・不明	0.1%

※上記で、「かなり容易であった」「やや容易であった」「どちらとも言えない」と回答された方は、問14へ移ってください。

※上記で、「あまり容易でなかった」「まったく容易でなかった」と回答された方へ

問13 その理由は？(いくつでも選んでください)

「あまり容易でなかった」「まったく容易でなかった」と回答した64名中、

・トップページからの案内がわかりにくい	59.4%	・目的の情報へたどりつくページの移動 (マウスのクリック)が多すぎる	23.4%
・リンクのボタンが多すぎる	17.2%	・元のページへ戻れず迷子になった	0%
・デザインにまとまりがなく情報が探しにくい	23.4%	・検索機能が複雑すぎる	6.3%
・1ページの情報量が多すぎる	12.5%	・不明	4.7%

・その他(10.9%)

- | | |
|--|--------------------------------|
| ○トップページからのアクセスができない | ○市内全域の病院を探せるようなものではな
かった |
| ○各ページにアクセスできない | ○専門的な方がホームページを作成してい
ないようである |
| ○検索でなかなかでてこなかった。どれが本
当に必要情報が載っているサイトなのか判断し
づらかった | ○動きが遅くて時間がかかりすぎる |

問14 文字、デザイン、画面のレイアウト等の情報の提供方法は適切でしたか？

・適切であった	63.7%	・どちらとも言えない	22.4%
・適切でなかった	13.8%	・不明	0.1%

※上記で、「適切であった」「どちらとも言えない」と回答された方は、問16へ移ってください。

※上記で、「適切でなかった」と回答された方へ
問15 その理由は？(いくつでも選んでください)

「適切でなかった」と回答した97名中、

・文字が見にくい	20.6%	・ページごとの統一性がない	8.2%
・デザインが優れない	25.8%	・情報がよく整理されていない	35.1%
・画面のレイアウトが見にくい	33.0%	・不明	10.3%
・その他(15.5%)			
○インデックスが英語なので、分かり難い		○地図がいまいちわからない	
○どこに情報があるかわかりにくい		○当番病院を調べるのにサイト内から更に検索をかけるので面倒だった	
○どの項目に何の情報があるか、すぐにわからない。階層が深すぎる？詳細が少ない。地図や交通手段なども記載してほしい。		○病院情報は「他のサイトへ」をクリックして初めて出てきた	
○なかなか表示されなかった(ページが重かった)		○文字の行替えがずれている、初歩的なミスが訂正されていない	
○検索機能があれば良い		○目立たない	
○重すぎてなかなか表示されない			
○色が悪い			

問16 提供される情報の内容は十分でしたか？

問16-1 病院に関する情報

・十分であった	33.9%	・どちらとも言えない	30.3%
・不足であった	34.9%	・不明	0.9%

問16-2 一般診療所に関する情報

・十分であった	29.6%	・どちらとも言えない	26.9%
・不足であった	42.3%	・不明	1.1%

問16-3 歯科診療所に関する情報

・十分であった	20.4%	・どちらとも言えない	29.5%
・不足であった	48.3%	・不明	1.9%

問16-4 救命・救急に関する情報

・十分であった	38.5%	・どちらとも言えない	28.5%
・不足であった	30.8%	・不明	2.3%

問16-5 休日・夜間診療に関する情報

・十分であった	49.3%	・どちらとも言えない	24.5%
・不足であった	23.9%	・不明	2.3%

問16-6 医師に関する情報

・十分であった	7.0%	・どちらとも言えない	28.9%
・不足であった	61.5%	・不明	2.6%

問16-7 感染症、難病等に関する情報

・十分であった	12.4%	・どちらとも言えない	35.9%
・不足であった	48.9%	・不明	2.8%

問16-8 緊急性の病気(O-157等)に関する情報

・十分であった	11.3%	・どちらとも言えない	36.3%
・不足であった	50.1%	・不明	2.3%

問16-9 病気予防、健康管理等保健に関する情報

・十分であった	24.8%	・どちらとも言えない	37.6%
・不足であった	35.6%	・不明	2.0%

問17 今後、都道府県または市町村の自治体がインターネット上で提供を充実していくべきと思われる情報をあげてください。(いくつでも選んでください)

・病院の名称・所在地、電話等に関する情報	72.6%	・専門医、認定医などの資格に関する情報	34.8%
・一般診療所の名称・所在地、電話等に関する情報	59.5%	・医療機関、疾患別の平均在院日数(患者が病院に入院している平均日数)に関する情報	15.8%
・歯科診療所の名称・所在地、電話等に関する情報	45.9%	・医療機関、疾患別の平均治療費に関する情報	30.6%
・診療科目に関する情報	61.4%	・医療機関別、疾患別の治癒率に関する情報	22.3%
・診療時間に関する情報	58.4%	・医療機関別、疾患別の死亡率に関する情報	18.7%
・救命・救急に関する情報	68.2%	・一般の病気に関する情報	46.2%
・休日・夜間診療に関する情報	76.9%	・感染症、難病等に関する情報	41.8%
・病床数、入院に関する情報	29.2%	・緊急性の病気(O-157等)に関する情報	42.3%
・医療設備に関する情報	43.8%	・病気予防、健康管理等保健に関する情報	41.9%
・検診・予防接種に関する情報	49.7%	・各病院のウェブサイトへのリンク	47.0%
・疾患別の治療法に関する情報	41.9%		
・その病院でできる手術の種類に関する情報	35.9%		
・医師に関する情報	47.6%		
・その他(1.9%)			

- おおよそ治療にかかる金額
- ドクターナビと言うサイトがあり、こちらはすぐ検索できた
- リンクの名前をもっとわかり具体的にわかりやすくすべき
- 医療機関アクセスマップ
- 医療機関の得意科目
- 医療事故についての情報
- 各介護施設の提供サービスの内容
- 各疾患の詳細情報へのリンク
- 患者からの評価
- 在宅ケアに関する情報及び住診可の医院、クリニックに関する情報
- 実際に通院した患者からの口コミ情報

- 所在地を表す地図
- 第三者の医師から監査した情報
- 乳幼児に関する医療機関や、特有の病気、その症状や予防方法、緊急時の対応方法を別枠で設けてほしい。
- 病院が掲げている看板の診療科目だけでなく、一般世間での「評価」も載せて欲しい。
- 病院に行く前に、医療機関や病気について気軽に質問・相談できる窓口
- 不妊外来がどこにあるか
- 婦人科の場合女医さんの有無
- 薬の飲み合わせの相性検索
- 乳幼児の夜間の病院について・・小児科(救急も含む)

問18 病気の治癒率、患者の死亡率等の結果に関する情報(いわゆるアウトカム情報)の公開についてうかがいます。(一つだけ選んでください)

・アウトカム情報は、客観的に比較可能なデータを提供する方法が整えば公開すべきである。	60.2%
・アウトカム情報は、客観的に比較可能なデータを提供する方法が整っても、患者・国民が理解するのは難しいので公開すべきでない。	7.0%
・アウトカム情報は、客観的に比較可能なデータを提供する方法が整っても、利用の仕方によって問題が生じやすいので、公開すべきでない。	13.1%
・よくわからない	19.8%

※上記で、「公開すべきでない」「よくわからない」と回答された方は、最後の問22へ移ってください。

※上記で、「公開すべきである」とされた方へ

問19 病気の治癒率、患者死亡率等のアウトカム情報の公開は何に役立つと思いますか？重要だと思われるものを二つまで選んでください。

「公開すべきである」と回答した613名中、

- | | | | |
|---------------------------------------|-------|-----------------------------|-------|
| ・病院や医師の選択に役立つ。 | 59.7% | ・各地域の疾患の傾向や医療政策の効果
がわかる。 | 20.2% |
| ・病院の医療機能の向上に役立つ。 | 41.8% | ・患者・国民の医療への関心を高めるの
に役立つ。 | 33.3% |
| ・医師の技術の向上に役立つ。 | 29.7% | ・よくわからない | 1.1% |
| ・医療ミスや医療事故の防止に役立つ。 | 54.8% | ・不明 | 8.3% |
| ・診断・治療法の科学的根拠となる情報
のデータベースづくりに役立つ。 | 20.7% | | |

・その他(1.3%)

- | | |
|---|--------------------------------|
| ○安心感につながる | ○自分の自身に繋がるか又は病気に対しての構
えが出来る |
| ○医療ミスの実態も把握できる | ○情報を活用し、医療機関を選択することが可能
になる |
| ○一般人がそういう情報をネットから吸収する
と医師はウカウカしてられないだろう。 | ○不妊治療のアウトカム情報を大々的に公開し
てほしい |
| ○患者やその家族の闘病生活の設計に役立つ | |
| ○自分がその病気になった時、そういう情報が私
はほしい。実際今難病を抱えているので客観的
な意見は自分が納得し、治療に専念する時に精
神的にメドになる。 | |

問20 病気の治癒率、患者死亡率等のアウトカム情報は、どこが提供するのが一番適当だと思われますか？
(一つだけ選んでください)

「公開すべきである」と回答した613名中、

- | | | | |
|---------------|-------|--------------|-------|
| ・国または国に準ずる機関 | 28.2% | ・薬剤師会 | 0.0% |
| ・都道府県の自治体 | 14.7% | ・健康保険組合等保険者 | 0.7% |
| ・市町村の自治体 | 10.6% | ・製薬メーカー | 0.2% |
| ・保健所 | 4.1% | ・NPO等の第三者機関 | 18.3% |
| ・大学病院、公的な研究機関 | 2.1% | ・民間の医療情報提供会社 | 4.4% |
| ・医療機関自身 | 5.2% | ・患者(個人または団体) | 2.0% |
| ・医師会 | 3.1% | ・よくわからない | 3.9% |
| ・病院団体 | 0.5% | ・不明 | 0.8% |
| ・医学会 | 1.0% | | |

・その他(0.3%)

- 市町村の自治体が、病院ではなく、患者及び家族から取った情報に基づいた提供をする